

## 「こども基本法」に対応する コミュニケーション環境を考える

### はじめに



2023年4月に施行された新しい法律「こども基本法」は、各自治体、私達の暮らす千曲市に、（こどもが地域や学校などで意見を示す機会、参画する機会の確保）を行う責任があると明示しています。

「こども基本法」に対応するコミュニケーション環境について、あなたの考えを示してください。

＊回答は、統計データとして処理を行います。回答者個人が特定されたり、調査目的以外に使用することはありません。

次のステップへ



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー

## 「こども基本法」に対応する コミュニケーション環境を考える

### Q1

あなたの性別をお聞かせください。

男性

女性

回答しない

次のステップへ



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー

## 「こども基本法」に対応する コミュニケーション環境を考える

### Q2

あなたの年齢をお聞かせください。

選択してください

戻る

次のステップへ



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー

## 「こども基本法」に対応する コミュニケーション環境を考える

### ここからの設問について



ここからの13問は、回答すると「こども基本法」についての理解が深まる【ラーニングパート】です。

選択肢を選んで進むと（正解）（残念）の表示、次に（正解）がわかる参考情報が表示されます。

（正解）でも（残念）でも、参考情報を読むと理解が深まりますので、間違えても気にしないでください。

【ラーニングパート】の最後に、理解度スコアが表示されます。

また、【おさらい】で再回答をする、（正解）を読んだ状態で回答できるので、理解度スコアをアップできます！

戻る

次のステップへ



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー



CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q3

国を統治する力（まとめる力）で  
ある「主権」は、日本国憲法で、  
誰が持っているかと定められていま  
すか？

総理大臣

自分自身（国民）

天皇

大統領

政府

回答して参考情報をチェック

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶ このサイトについて

▶ 利用規約

▶ プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q3 参考情報 （1/2）

主権

国の政治のあり方を決め、  
それを実行することができる  
もっとも強い力

Sovereign power

英語では、ソブリン パワーと言います。  
Sovereignは、「最高の」「統治者」  
といった意味です。

「主権」は、あなたが持っています。  
主権を社会の全員で持つというアイデ  
アが約250年前につくられ、近代社会  
が生まれました。  
(つづく→)

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶ このサイトについて

▶ 利用規約

▶ プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q3 参考情報 （2/2）

日本国憲法の3原則

平和主義

基本的  
人権の  
尊重

国民主権

国民が「主権」を持つことは、日本国  
憲法の根幹をなす3原則のひとつ「国  
民主権」として明記されています。  
こどもも大人もみんなが主権者です。  
日本国憲法の3原則は以下のように説  
明できます。

「国民主権」  
国のあり方は国民が決める

「基本的人権の尊重」  
だれもが人間らしく生きる権利を持つ

「平和主義」  
戦争と武力による威嚇（いかく）、行  
使を永久に放棄（ほうき）し世界平和  
を願う

戻る

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶ このサイトについて

▶ 利用規約



「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

#### Q4

わたし達の社会の基本的な仕組み  
(民主主義)は多数決によって、  
ものごとが決まる仕組みである。  
これは、(YES)か(NO)の  
どっち?

YES

NO

回答して参考情報をチェック



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー [🔗](#)

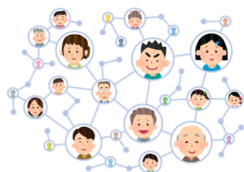
「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

#### Q4 参考情報 (1/2)

たとえば、

**NO**

民主主義＝多数決では  
ありません。



多数決は何でもできるものではありません。もしも多数決で何でも決められると、多数派による専制社会（多数派が一方向的に物事を決めて進める社会）になってしまいます。  
(つづく→)

次のステップへ



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー [🔗](#)

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

#### Q4 参考情報 (2/2)

誰も困らない方法、  
一番良い答えを探すには、  
だれもが意見を示せる  
ことが大切です。



民主主義で最も大切なことは、  
(誰も困らない方法・最適解（一番良い答え）を探すこと)です。  
主権者である私達が、考えて意見を示すことでわたし達、ひとりひとりが主権を持つ社会（＝民主制）が機能します。

戻る

次のステップへ



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー [🔗](#)



CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q5

先生が「校則は変えられない」と  
言ったら、校則は変えられない。  
これは、（先生が正しい）か（先  
生が間違っている）のどっち？

先生が正しい

先生が間違っている

回答して参考情報をチェック

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶このサイトについて

▶利用規約

▶プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q5 参考情報（1/2）

こたえは、  
**先生が間違っている**  
**筋が通らない校則は、  
見直しましょう。**  
文部科学省が、  
2022年12月に示した  
「生徒指導提要」に  
明確に方針が示されています。

文部科学省が発行する生徒指導に関す  
る基本書『生徒指導提要』の改訂版が  
2022年12月に発表されました。  
この改訂は「こども基本法」の成立も  
受けて行われており、「校則の見直  
し」についても、いつでも積極的に見  
直すべきものとして見直しが行われて  
います。（つづく→）

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶このサイトについて

▶利用規約

▶プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q5 参考情報（2/2）

生徒指導提要  
令和4年12月  
文部科学省  
文部科学省

「生徒指導提要」

今回の改訂の背景には、これからの社  
会の担い手として児童・生徒を位置づ  
け、自分の頭で考え行動できるようにな  
ってほしいという考えがあります。

生徒指導提要は、こちらから→『生徒  
指導提要』（文科省のページが新規タ  
ブで開きます。）

戻る 次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶このサイトについて

▶利用規約

▶プライバシーポリシー



CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q6

『こども基本法』が、地方自治体（市役所）に求めていることとして合っているものをすべて選んでください。（複数選択可）

地域の「こども計画」を総合的に考え、実施すること

こどものための取り組みや政策に人々の意見が反映される活動を行うこと

「自分の意見では学校は変わらない」など社会の厳しさをこどもに教えること

こどもが意見を言う場、社会的活動に参加する機会をつくること

学力を向上させる取り組みを行うこと

回答して参考情報をチェック

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶ このサイトについて

▶ 利用規約

▶ プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q6 参考情報

『こども基本法』が自治体に求めること

- ・こどもが意見を言ったり伝えたりする機会、さまざまな社会的活動に参加する機会をつくること。
- ・こども施策についての計画をとり決め、実施すること。
- ・こども施策について、こどもと保護者などの意見を反映させるための必要な措置を講ずること
- ・国や都道府県、関係機関などと連携すること。

『こども基本法』は自治体（市役所など）に、こども基本法の理念（考え）を各自治体の取り組みに反映させることを求めています。

そのために、こどもが意見表明する場と、社会的活動に参加する場の確保と、こども施策をまとめた「こども計画」の計画と実行、その計画にこどもや関係者の意見を反映することを求めています。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶ このサイトについて

▶ 利用規約

▶ プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q7

学校教育の基本方針として「学習指導要項」が目指しているものとして、正しいものはどれでしょうか？選択肢から全て選んでください。

全員の学力を上げる

個別最適（一人ひとりにとって最適）な学びを実現する

競争社会で勝てる人を増やす

協働的（協力して考える、行動する）な学びを実現する

人に逆らわない人を育む

自分の頭で考える人を育てる

回答して参考情報をチェック

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶ このサイトについて

▶ 利用規約

▶ プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q7 参考情報（1/2）

新学習指導要綱のポイント  
（中学校では2021年から全面实施）

「何ができるようになるのか」から、「不確実性の高い社会を豊かにする力」へ

新学習指導要綱は、文部科学省が全国の学校に向けて定める教育課程の基準（スタンダード）です。

今回の改訂のもっとも大きな変化は、これまでの「ある枠の中でできることを増やす」ことの重視から、「変化を前向きに受け止め、より豊かになる力」の重視へと変わったことです。不確実性の高い社会に対応できるよう、ひとりでも多くの人に、自分の頭で考える人になって欲しいという考えが背景にあります。（→つづく）

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶ このサイトについて

▶ 利用規約

▶ プライバシーポリシー



「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q7 参考情報（2/2）

新学習指導要綱のポイント  
(中学校では2021年から全面实施)

「学びに向かう力、人間性など」「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」を育むための学びの考え方

「個別最適な学び」

「協働的な学び」

この学びを実現するために、一人ひとりの興味や関心にあった学習の機会をつくること「個別最適な学び」、クラスメイトや他校の生徒などと教え合うこと「協働的な学び」が重要であると示されています。

戻る

次のステップへ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q8

『こども基本法』は、1989年に国連総会で採択された『児童の権利に関する条約』が基礎になっています。この条約で示された、児童が持つ権利はいくつあるのでしょうか？

3つの権利

4つの権利

6つの権利

54の権利

回答して参考情報をチェック

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q8 参考情報（1/2）

### 4つの基本権利



1989年11月20日、第44回国連総会において定められた「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」は、世界で最も多くの国や地域が批准（同意）している国際条約です。日本は1994年に批准しました。4つの基本権利は、

- 1-差別の禁止（差別のないこと）
  - 2-子どもの最善の利益（子どもにとって最もよいこと）
  - 3-生命、生存及び発達に対する権利（命を守られ成長できること）
  - 4-子どもの意見の尊重（意見を表明し参加できること）
- です。  
→（つづく）

次のステップへ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q8 参考情報（2/2）

### 54の条文



それぞれの数字が気になったと思います。子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）は、54条からできています。  
1～40条に、生きる権利や成長する権利、暴力から守られる権利、教育を受ける権利、遊ぶ権利、参加する権利など、世界のどこで生まれても子どもたちがもっている、様々な権利が定められています。

戻る

次のステップへ



「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q9

では、この国連条約を受けた日本の『こども基本法』の基本理念は、全部でいくつあるでしょうか？

3つの理念がある

4つの理念がある

6つの理念がある

12の理念がある

回答して参考情報をチェック



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q9 参考情報 (1/2)

基本理念は、

6つ

- 1 すべてのこどもは大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと。
- 2 すべてのこどもは、大事に育てられ、生活が守られ、愛され、保護される権利が守られ、平等に教育を受けられること。
- 3 年齢や発達 の程度により、自分に直接関係することに意見を言えたり、社会のさまざまな活動に参加できること。

日本は1994年に「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」に批准（同意）したのですが、こどもを権利の主体として、その権利を保障する総合的な法律がありませんでした。2016年に児童福祉法の改正の際に「児童の権利」が明記され、コロナ禍を経て「こども基本法」がつくられました。

次のステップへ



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q9 参考情報 (2/2)

基本理念は、

6つ

- 4 すべてのこどもは年齢や発達の程度に応じて、意見が尊重され、こどもの今とこれからにとって最もよいことが優先して考えられること
- 5 子育ては過程を基本としながら、そのサポートが十分に行われ、家庭で育つことが難しいこどもも、家庭と同様の環境が確保されること。
- 6 家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会をつくること。

6つの基本理念は、国連の子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）をもとにしており、こどもと社会、こどもと家庭をふくむものとなっています。

戻る

次のステップへ



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー



CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q10

『こども基本法』で（こども）  
は、どのように定義されているで  
しょうか？

15歳までが対象

18歳までが対象

20歳までが対象

年齢で対象は定義されていない

回答して参考情報をチェック

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

このサイトについて

利用規約

プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q10 参考情報

年齢による決まりはなく  
心身の発達過程にある人  
すべてがこども基本法の  
対象です。



『こども基本法』パンフレット 子ども家庭庁 より

「こども基本法」では、年齢での定義  
を行っていません。  
第2条で、“この法律において「こど  
も」とは、心身の発達の過程にある者  
をいう。”と定義して（定めて）いま  
す。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

このサイトについて

利用規約

プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q11

『こども基本法』にとっても深く関  
わるデジタルシチズンシップとい  
う考え方があります。  
デジタルシチズンシップのスキル  
として適切なものは以下のどれで  
しょうか？正しいものを選んでく  
ださい。（複数選択可）

デジタル技術で社会に積極的に関わり、  
参加すること

誰かのスマホやゲームの利用時間を制限  
すること

ニュースは基本的に正しいと思うこと

ネットで知り合った人に画像やお金を送  
ること

デジタル技術を通じてよき社会をつくる  
市民となること

回答して参考情報をチェック

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

このサイトについて

利用規約

プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q11 参考情報

デジタルシチズンシップに  
求められる4方向の能力

価値観

態度

コンピタンス

知識・批判的理解

デジタルシチズンシップとは、デジタ  
ル（スマホやインターネット等）環境  
が普及する社会で、市民（シチズン）  
がどうあるべきかを考えてつくられ  
た、これからの市民（与主権者）のあ  
り方です。  
〈誰かのスマホやゲームの利用時間を  
制限すること〉〈ネットで知り合った  
人に画像やお金を送ること〉〈ニュー  
スは基本的に正しいと思うこと〉は、  
情報モラル、リテラシー（スマホや  
PC、メディアを活用する知識や能  
力）として避けるべきことです。

デジタルシチズンシップに含まれる、  
他者を広く受け入れる態度や学びなが  
ら考える力は、これからの不確実の高  
い（＝何が起るか予想が難しい）社  
会に必要な暮らしの姿勢であり、マ  
ナーとも言えます。

次のステップへ



CHIKUMA  
Polineco!  
ホリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q12

『こども基本法』は、大人も含めた  
全国民にどんなことを求めている  
でしょうか？選択肢から  
正しいものを全て  
選んでください。

こどもに関する社会的な取り組みについて  
関心と理解を深めること

こどもの躰け（しつけ）を行うこと

国や市町村のこども施策に協力すること

育児放棄（ほうき）、児童虐待（ぎやく  
たい）をしないこと

税金を納めること

回答して参考情報をチェック

CHIKUMA  
Polineco!  
ホリネコ

このサイトについて

利用規約

プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ホリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q12 参考情報

こども基本法.第7条

国民は、基本理念にのっとり、  
こども施策について関心と理解を  
深めるとともに、国又は地方公共  
団体が実施するこども施策に協力  
するよう努めるものとする。

『こども基本法』第7条では、国民  
に、こども施策への関心と理解を持  
ち、施策（取り組み）に協力するよう  
に努めることを求めています。  
〈こどもへの躰〉は法律に定められて  
いません。  
〈育児放棄、児童虐待〉は刑法や児童  
虐待防止法が対応しています。（税金  
を納めること）は憲法に明記されてい  
ます。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ホリネコ

このサイトについて

利用規約

プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ホリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q13

《こどもは義務や責任をはたさな  
くても、権利を主張したり、つ  
かったりできる。》  
これは、（YES）か（NO）の  
どちら？

YES

NO

回答して参考情報をチェック

CHIKUMA  
Polineco!  
ホリネコ

このサイトについて

利用規約

プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ホリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q13 参考情報

こたえは、  
YES  
私達は基本的人権によって  
「義務や責任」よりも前に  
「権利」を持つ存在です。

基本的人権のもとに私達は暮らしてい  
るので、義務を果たさないと権利がな  
いということはありません。たとえ  
ば、赤ちゃんは義務を果たす能力があ  
りませんが、一人の人間として尊重さ  
れる権利があります。  
同じように、こどもも大人もまず、基  
本的人権によって守られています。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ホリネコ

このサイトについて

利用規約

プライバシーポリシー



「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q14

『こども基本法』には、あなたが  
困りごとや提案、相談ことなどの  
意見を表す場、社会的活動に参加  
する場や機会をつくらなければなら  
ないと示されている。

これは、(YES) か (NO) の  
どちら？

YES

NO

回答して参考情報をチェック



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー 𐄂

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q14 参考情報 (1/3)

### こども基本法.第3条

(基本理念)

-3-  
全てのこどもについて、その年齢  
及び発達に応じて、自己に  
直接関係する全ての事項に関して  
意見を表明する機会及び多様な社  
会的活動に参画する機会が確保さ  
れること。

『こども基本法』の基本理念として"  
こどもが意見を言う場、多様な社会的  
活動に参加する場や機会が確保される  
こと"がはっきり示してしています。  
(→つづく)

次のステップへ



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー 𐄂

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q14 参考情報 (2/3)

### こども基本法.第5条

(地方公共団体の責務)

地方公共団体は、基本理念にのっ  
とり、こども施策に関し、国及び  
他の地方公共団体との連携を図り  
つつ、その区域内におけるこども  
の状況に応じた施策を策定し、及  
び実施する責務を有する。

そして、第5条で地方公共団体（千曲  
市役所）にこども施策をこどもの状況  
に応じて実施する責務があると明示し  
ています。こどもの状況を把握するに  
は、こどもと大人、こどもと千曲市役  
所の間でのコミュニケーションが重要  
となります。(→つづく)

戻る

次のステップへ



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー 𐄂

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q14 参考情報 (3/3)

### こども基本法.第11条

(こども施策に対するこども等の意見の反映)

国及び地方公共団体は、こども施  
策を策定し、実施し、及び評価す  
るに当たっては、当該こども施策  
の対象となるこども又はこどもを  
養育する者その他の関係者の意見  
を反映させるために必要な措置を  
講ずるものとする。

第11条では、こども施策（子育て、  
教育、福祉、保健、医療、雇用、少子  
化対策その他の分野における子どもに  
関する施策）を国、地方公共団体が取  
り決めることと、こどもやこどもの養  
育するもの、養育に関わる人々の意見  
を反映させることが求められていま  
す。  
(※措置（そち）とは、解決をつける  
ために取り計らうこと。処置のことです。)

戻る

次のステップへ



- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー 𐄂



CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q15

こどもは選挙権がなくても、地域  
や学校に意見が言えるし、意見を  
言える環境になっているべき。  
これは、(YES) か (NO) の  
どちら？

YES

NO

回答して参考情報をチェック

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶このサイトについて

▶利用規約

▶プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q15 参考情報

こたえは、  
**YES**  
「こども基本法」は、  
全てのこどもに、  
“意見を表明する機会及び  
多様な社会的活動に参画する  
機会が確保されること”  
を明記しています。

「こども基本法」には、こどもに、"  
意見の表明する機会及び多様な社会的  
活動に参画する機会が確保されるこ  
と"がはっきりと書かれており、この  
ことを保障しています。  
選挙権の有無にかかわらず、学校や地  
域など自分が関わることに意見を表明  
することができます。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶このサイトについて

▶利用規約

▶プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q16

「社会の取り決めにまちがいがあ  
ったとしても、すでに法律で決  
まっているので、いまさら見直し  
たり反対するのは良くない。」と  
いう考え方は、主権者として（正  
しい）か（正しくない）のど  
ち？

正しい

正しくない

回答して参考情報をチェック

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶このサイトについて

▶利用規約

▶プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q16 参考情報

こたえは、  
**正しくない**  
人間が中心の社会では、  
まちがいを認めて  
より良い選択を行える  
ことが不可欠です。

歴史の中で、かつては適切だった法律  
や仕組み、取り組みが社会変化の中で  
機能しなくなったり、悪影響を及ぼす  
ようになることは、少なくありませ  
ん。まちがえを見つけたら早めに対応  
して改善できるが長く、持続的に発展  
できる社会です。また、日本やEU  
は、一人ひとりの人間が中心となる社  
会（人間中心社会/Society5.0）をこ  
れからの社会のあり方として位置づけ  
ています。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶このサイトについて

▶利用規約

▶プライバシーポリシー



CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

≡

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

ここまでの正答率スコア

100

Level

『こども基本法』へのあなたの理解度は、レベル 100です。  
(レベルの最高値は100です。)  
あなたのスコアはいかがでしたか？

レベルが50以下だったり、ちょっと低いなぁと思ったら（おさらい/再回答）するとスコアアップします！  
ここから先は、「こども基本法」についての意識調査、年代などの確認設問にお答えください。

最後のパートで、あなたの「こども基本法」に対応するコミュニケーションの考えについてタイプ判定を行います。

次のステップへ

おさらい（再回答）をする

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶このサイトについて

▶利用規約

▶プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

≡

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

ここからの5問について

ここからの5問では、  
あなたのお考えをお答えください。  
また、ご意見などあればぜひ聞かせてください。  
回答に応じて、考えの「タイプ」を判定表示します。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶このサイトについて

▶利用規約

▶プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

≡

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q17

あなたは、日々の生活、くらしの中で、『こども基本法』にあるように、個人として尊重され、自分の意見を学校や市役所などに言ったり、伝えたりすることができていますか？

できていると思う

ある程度できていると思う

どちらともいえない

あまりできていると思わない

できていないと思う

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶このサイトについて

▶利用規約

▶プライバシーポリシー

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

≡

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

Q18

あなたは、学校や暮らしなど身のまわりのことに意見を示すことについて、どのようなかたちが良いと考えますか？

継続的な対話ができなくても良い

継続的な対話ができるほうが良い

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!  
ポリネコ

▶このサイトについて

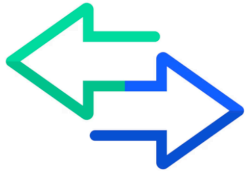
▶利用規約

▶プライバシーポリシー



「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q18 参考情報



2つを比較すると、こんな感じです。  
下記を読んで、もしも考えが変わったら（戻る）で選択をやり直せます。

### 【継続性のない対話】

1.学校でうさぎを飼いたいです。→2.  
実現は難しいです。以上。

### 【継続性のある対話】

1.学校でうさぎを飼いたいです。→2.  
実現は難しいです。→3.なぜです  
か？→4.誰が飼育するか/夏休みなど  
はどうするか判らない為です。→5.飼  
育担当は〇〇さんと数名で、長期休暇  
の際は〇〇さんと〇〇さんの家で預  
かっていただけます。→6.実現性が  
高まりましたね。

[戻る](#)[次のステップへ](#)

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q19

こどもからの意見に、実際に取り  
組むことになった時、大人とこど  
もの関わり方はどういう形がよい  
と考えますか？

基本的に大人だけに任せる

基本的に大人とこどもと一緒に関わる

[次のステップへ](#)

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q19 参考情報



下記を読んで、もしも考えが変わった  
ら（戻る）で選択をやり直せます。

『こども基本法』では、こどもの意見  
を聞き、取り組みに反映することを行  
政（市役所）に求めています。  
しかし、取り組みをつくることに関し  
ては特に明記していません。  
そのため、基本的に大人任せになるこ  
とが多くなってしまいます。

一方、取り組みを大人と一緒に考えたり、  
検討する仕組みとして若者議会など  
の形で  
自分たちの代表や特に意見を持つ人を  
行政（市役所）に送り、意見を代弁し  
たり提案を行うことで、  
大人とこどもと一緒に取り組みをつ  
くったり、改善することも可能です。  
あなたはどちらがいいですか？

[戻る](#)[次のステップへ](#)

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q20

もしも、あなたが意見を示したと  
きに、その意見はどのレベルまで  
届けばいいと考えますか？

課題解決のレベルに、届くといい

課題解決のレベルに、届かなくてもいい

[戻る](#)[次のステップへ](#)



「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q20 参考情報



下記を読んで、もしも考えが変わった  
ら（戻る）で選択をやり直せます。

課題解決レベルとは、市長や市議会に  
届き市政の議題となることです。  
議題となることで、新しいルール（条  
例）や取り組みに必要な予算（お金）  
などを具体的に考えられるようになり  
ます。  
自分や自分たちの意見を大人の課題解  
決レベルにまで届けたいかどうかを選  
んでください。

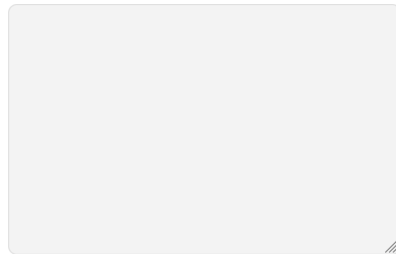
戻る

次のステップへ

「こども基本法」に対応する  
コミュニケーション環境を考える

## Q21

屋代中学校の校則やルール、修学  
旅行や部活、それ以外にも学びの  
環境や地域のことなどで、もっと  
良くなったらいいと思うこと  
や、困っていることなどがあれば  
お聞かせください。（※特にな  
い場合は、そのまま次のタイプ判定  
画面に進めます。）



戻る

タイプ判定画面へ

<b>Type-1</b> 一方通行&大人に 課題解決をお願い 	<b>Type-2</b> 意見を言うだけ &大人任せでOK 	<b>Type-3</b> 一方通行だけど、 大人と一緒に 課題解決 	<b>Type-4</b> 意見を言うだけ &一緒にワイワイ 
<b>Type-5</b> 対話しながら、 大人に課題解決 をお願い 	<b>Type-6</b> 対話しつつも、 大人任せでOK 	<b>Type-7</b> 対話しながら 大人とこども、 一緒に課題解決 	<b>Type-8</b> 対話しながら 大人とこども、 一緒にワイワイ 



Type-1

一方通行&大人に  
課題解決をお願い



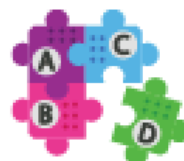
Type-2

意見を言うだけ  
&大人任せでOK



Type-3

一方通行だけど、  
大人と一緒に  
課題解決



Type-4

意見を言うだけ  
&一緒にワイワイ



Type-5

対話しながら、  
大人に課題解決  
をお願い



Type-6

対話しつつも、  
大人任せでOK



Type-7

対話しながら  
大人と子ども、  
一緒に課題解決



Type-8

対話しながら  
大人と子ども、  
一緒にワイワイ

